

関町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年11月6日(木) 14時～15時
- 2 場所 関町図書館 2階 視聴覚室
- 3 出席者 利用者 15名(うち介助者0名)
図書館 3名
(関町図書館長、館長代理2名)
- 4 テーマ 「関町図書館に期待するサービスとは」
- 5 配布資料 (1)関町図書館の現状
(2)関町図書館 各サービス実績の推移
(3)関町図書館の実績および区内での位置
(4)令和7年度 練馬区教育要覧(図書館部分抜粋)
(5)これからの図書館構想(概要版)
(6)令和6年度 関町図書館実施事業一覧
(7)令和7年度 関町図書館実施事業一覧
(8)令和7年度 児童定例事業予定
- 6 次第 (1)関町図書館長挨拶
(2)図書館職員紹介
(3)関町図書館 運営実績の説明
(4)参加者自己紹介、懇談
(5)閉会の挨拶

関町図書館利用者懇談会 会議録

1 関町図書館長挨拶

本日は、お忙しい中、関町図書館の利用者懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。

関町図書館長です。どうぞよろしくお願いたします。

関町図書館は、昭和57年の9月に開館し、今年で42年目となります。平成28年に改修工事を行い、平成29年の4月にリニューアルオープンして新しい施設としてご利用いただいております。

こういった背景から授乳室、グループ学習室、座席管理席、図書除菌機、デジタルサイネージなど区内でも比較的新しい設備を導入しております。

また、リニューアルのタイミングから運営体制も指定管理者制度を導入しており、私以下

職員は、全て民間の企業の者でございます。株式会社図書館流通センターが運営にあたっております。

今回は、「関町図書館に期待するサービスとは」というテーマで懇談会を行いたいと思います。

このあとの流れですが、資料をご覧くださいながら当館の昨年度と今年度前半事業実績を説明いたします。

その後、テーマである「関町図書館に期待するサービスとは」について皆様のご意見をいただき、今後の図書館運営の参考にさせていただきたいと思います。

その際、どのような方がどのような意見をお持ちかをあわせて把握したいため、初めに自己紹介の時間を設けさせていただきたいと思います。

当館との関係やどう図書館を利用されているかなど、簡単なもので構いません。

なお、本日は練馬区立図書館12館のうち、関町図書館の懇談会となっております。

館独自で答えられないような内容、図書館全体に関わること、図書館システムに関することなどにつきましては、お答えできない場合がございます。

そういった質問や意見については、こちらでご意見を承りまして、統括館である光が丘図書館と相談した上で、後日、図書館ホームページにて回答させていただきます。ご了承ください。

また、11月20日（木）午後3時から光が丘図書館の懇談会がございます。図書館全体の意見等を問い合わせられる場合は、そちらにご参加いただければと思います。

2 図書館職員紹介

関町図書館長、館長代理2名

3 関町図書館 運営実績の説明

4 参加者自己紹介、懇談

利用者 関町児童館です。図書館からの配布資料にもありましたが、昨年度は10月、今年度は9月に図書館との連携事業を実施しました。「お仕事チャレンジ」と題し、小学生を対象に児童館で新しく購入した本にフィルムコーティングを行うイベントです。図書館にはこんな仕事もあると児童に知ってもらいました。

また、夏休みや冬休み期間中に関町児童館学童クラブで使用する本も図書館から借りています。

次年度以降の連携事業は、乳幼児から中高生まで、児童館の利用者であればどの年代でも楽しめるイベントを行いたいです。併せて、出前児童館という形で児童館の職員が図書館でイベントを行うことも検討しています。

利用者 上石神井児童館です。毎年度図書館との連携事業を実施しています。今年度は9月に児童館を利用する乳幼児とその保護者に対して乳幼児向けおはなし会を開催しました。2月には児童館の職員が図書館に行き、小学生を対象とした工作会を行う予定です。その他、地域の子育てサポートネットSTSと連携した事業「パスポット」で使用した本も図書館から借りました。

上石神井児童館の今後の課題としては、地域の子どもたちの居場所づくりがあります。特に中高生の居場所を作ることが必要だと考えています。関町図書館は子どもたちのためのスペースがあり、安心して過ごせる環境だと思っています。児童館だけでなく図書館も子どもたちの居場所になってもらえたらと思っています。

先日、児童館に来ている子どもたちに「どんな本があったら中高生が図書館に行くと思うか」と聞いたところ、「テレビドラマなどの原作の小説があったら借りに行きたいと思うかもしれない」と話していました。児童館はこのような子どもたちの情報が収集できる環境にあるため、こういった点でも連携が取れると良いと思います。

利用者 障害者地域生活支援センターういんぐです。ういんぐでは練馬区内にお住まいで障害をお持ちの方とご家族が気軽に立ち寄れる場所として施設を開放しています。障害に関する生活の相談などにお答えしています。

昨年度は関町図書館と連携し、図書館利用者を対象に障害理解を深めるための講座を開催し、ういんぐの職員から障害に関する本を紹介しました。

今後も地域の皆様に対して障害理解を広められるような連携を行いたいです。

利用者 関町地域包括支援センターです。地域包括支援センターは地域にお住いの65歳以上の方の相談窓口です。

昨年度、今年度と図書館と連携し認知症に関する講座を開催しました。今年度は9月に「認知症サポーター養成講座」を行いました。

また、関町地域包括支援センターが行うイベントで使用する本も図書館から借りています。65歳以上の方の課題として、家に閉じこもりがちになってしまうことがあります。特に男性です。はつらつセンターなど大勢の人が集まって何かをする場所より、図書館の方が出かけやすいという声も良く聞きます。その際は関町図書館を紹介していて、それが出かけるきっかけになったという声もあります。

利用者 地域こども家庭支援センター関です。当センターは関町地域と石神井地域で子育てをされている方の相談に乗ったり、乳幼児の一時預かりをしたりしています。子育て広場を開放して乳幼児とその保護者の居場所づくりも行っています。

図書館で開催しているブックスタートでセンターのパンフレットを配布してもらったり、センターの職員が図書館に行っておはなし会を開催したりしています。

センターに来る保護者の方は、子どもとどう関わってよいか悩んでいることが多いです。そんな時おはなし会を通じてヒントを得てもらいたいなと思っています。図書館がより身近に感じられるよう、今日は勉強できたらと思います。

利用者 関町ブックスタートの会です。ブックスタートとは、練馬区と図書館とブックスタートの会の三者が協力して行っている事業で、保健相談所に4か月健診を受けに来た親子に絵本の引換券を渡して、図書館に受け取りに来てもらう催しです。

月に三回ほど、絵本を差し上げるだけでなく、その絵本を読み聞かせたり、親子でできる手遊びを行ったりする時間を設けています。

また、近隣地域の子育て支援に取り組んでいる施設、児童館や地域子育て支援センター、学童クラブなどの情報を集めて提供しています。

ブックスタートは一度だけしか参加できませんが、この機会に子育て支援に関する様々な情報を得てもらえるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。

利用者 クロスドリームです。毎週火曜日の午前10時から正午まで図書館の視聴覚室で布の絵本を作っています。

現在は「布の絵本講習会（全四回）」を開催しています。とても盛況で、図書館で参加者を募ったところキャンセル待ちまで発生したそうです。練馬区内の図書館では定期的に行っていますが、関町図書館で行うのはとても久しぶりでした。

クロスドリームは人数が少なく、また高齢化も進んでいることから中々講習会を行うのが難しかったのですが、今回の講習会では他の図書館で活動しているボランティアが毎回応援に来てくださることになったため、とても助かりました。

講習会には、高齢の方から赤ちゃんを連れた若いお母さんまで幅広い世代の方々が参加しました。参加者の他にも見学の方がたくさんいらして強い熱意を感じました。

全四回で一冊の布の絵本を完成させることを目標に進めていますが、おかげさまで無事に完成しそうです。この講習会をきっかけに、ボランティアに加わってくれる方がいたらいいと思います。

布の絵本は当初障害を持った方向けに作成していましたが、今は小さいお子さんも楽しめるよう作成しています。

関町図書館は区内の図書館で、布の絵本の蔵書数が光が丘図書館に次いで二番目に多いです。まだ触ったことのない方は是非触ってみてください。とても楽しい布の絵本がたくさんあります。

利用者 関町読書会です。図書館の視聴覚室を借り、月に一回読書会を開催しています。読書会で使用する本は団体貸出のサービスを使って借りています。個人で借りるより長い期間借りられるためとても助かっています。図書館の方が親切に色々調べてくださるた

めいつも感謝しています。

読書会で取り上げる本はメンバー同士で推薦し合っています。お入りになりたい方は歓迎します。

利用者 みどりの風です。合唱グループで、関町小学校のOGやOBが集まって結成しました。名前は同校の校歌からです。コロナ禍の折に四年ほど休止していましたがなんとか再開できました。練習場所に図書館の視聴覚室を時々お借りしています。皆様のお話を伺い、色々な活動をされているグループがあるのだなと思いました。

利用者 関町福祉園です。図書館との関わりとしては、年に三回出張おはなし会を開催し、紙芝居や大型絵本の読み聞かせを通して交流しています。今年度は更に、特別展示を実施して関町福祉園の活動を紹介してくれるということで、楽しみにしています。

利用者 光が丘図書館利用者の会です。練馬区立図書館は布の絵本の所蔵が充実していますが、「取り外せるパーツを家で無くしてしまうと困る」と借りる方が少なくなっているそうです。

先日区内の他の図書館の懇談会に参加した際、布の絵本作成のボランティアの方が「汚れた布の絵本が戻ってくると、こんなにたくさん利用してもらって嬉しいと思う」と仰っていました。汚れても部品がなくなってもまた作り直せると。子どもや保護者の方が利用を躊躇わないような携わり方がとてもよいと思いました。

利用者 光が丘図書館利用者の会です。光が丘図書館利用者の会では、青少年に対する図書館サービスについて調べています。それぞれの図書館がどのように取り組んでいるのか情報を集めるため懇談会に参加しました。

利用者 図書館の運営には携わっていませんが、利用者として週に何度か利用しています。

利用者 生まれも育ちも練馬区で、最近地域愛について考えるようになってきました。

利用者 関町地域在住です。図書館について以前から関心があり、懇談会に参加しました。

図書館 自己紹介をありがとうございました。それでは引き続き懇談に入ります。今回のテーマ「関町図書館に求めるサービスとは」について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

利用者 皆さんの自己紹介を聞き、こんなに色々な方が図書館サービスに携わっていることに初めて気が付き驚きました。

子どもの図書館利用について、子どもがまだ小さい時は親と一緒にいきます。では、小学生や中学生になってどれだけの子どもたちが自分の意思で図書館に行くかという、全然行きません。自分の子どもが小さい時、私は毎日のように図書館に通いました。子どもは本が好きだと思っていました。子どもが成長し、一人で図書館に行ける年齢になったら行かなくなりました。家で友達とYouTubeを見ている方が良いと言います。凄く残念だと思いました。恐らく、60歳を過ぎてからまた通うようになると思います。それまでの間、こんなに知的な建物があっても、教育が必要な期間に、子どもたちはつまらないから自分たちに図書館は関係ないと言う。勿体ないと思います。結局、何をしたら図書館に行きたくなるのか。そのアイデアをどうやって出すのかという話になると思います。図書館は公共施設のため、色々な制約があるとは思っています。

配布された資料にある、「ボードゲームの日」や「布の絵本講習会」「3Dプリンタ体験会」も新しい試みでとてもいいと私は思いました。子どもは実際に興味を持ち参加したがっていましたが、日程が合わず参加できませんでした。

図書館利用者の中でぼっかりと空いてしまっている中高生の世代を、知的な場所である図書館に引き寄せるものがあると良いと強く思います。YouTubeでは得られない何かを図書館で見せなければ駄目だと思います。そうしたらあっという間にSNSで広がります。今、中高生の関心が高いのは恐らくアニメなのではないかと思っています。

図書館 ありがとうございます。ご指摘の通り、やはり小学生まではコンスタントに来館され、図書館を利用してくれます。利用統計等を見ましても小学生までは利用率が高く、中高生で大きく落ち込み、20代まで下がり続けます。30代でやや回復しますが、恐らく子どもと一緒に利用している方がこの層かと思われます。まずは中高生に図書館に興味を持ってもらう必要があると思います。ご意見として承ります。

利用者 子どもが持ってみたいと思える絵柄の図書館利用カードを用意してみたいと思いました。新しく自分で選んだカードを作ってもらい、それで一冊借りてみたい、読んでみたい、また返したい、また借りてみるという、図書館で本を借りるという体験に繋がったら良いと考えました。

図書館 面白い試みだと思いました。練馬区立図書館全体の運用にかかわる内容となり館独自ではお答えできないため、光が丘図書館と相談いたします。

利用者 私は子どもが小さい頃にこの図書館の近くに引っ越して来ました。子どもを育てている時に色々な本を借りられたのがとても良かったです。

暫く図書館を使っていなかった子どもが成長し、先日図書館を利用しようとした際、図書館の中で勉強できる環境が整っていたことに驚いていました。

最近では学生たちもとても熱心で、朝早くから閲覧席を確保し利用して勉強しているそうです。図書館は本を借りるだけの場所というのではなく、学生の学習場所の役割もしているのではないのでしょうか。本を読むことが目的の子どももいると思いますが、学習できる場所があるというのは子どもたちにとってはありがたいことだと思います。

図書館 ありがとうございます。先程申し上げたことと矛盾するようですが、定期テストの期間には非常に多くの中高生が来館します。関町図書館では10歳から18歳まで利用できるグループ学習室がありますが、朝の時点でその日の閉館時間まで予約が入ることもあります。

中高生が学習のため図書館の閲覧席を利用したことをきっかけに、図書館の本の活用方法を知ってもらったり、オンラインデータベースなどのサービスの利用に繋がったりできていないのが現状だと思います。来館した中高生に図書館について知ってもらい、興味を持ってもらうというのは常々課題として捉えています。今後の参考にいたします。

利用者 図書館の書架の表示についてです。日本十進分類法に基づき整理されていて専門的に本を探すのにはとても便利です。しかし、利用者の立場からは少し探しにくく感じる場合があります。

例えば腰痛に関する本がある書架には分類番号「493.6 運動器疾患」と書かれた札が差し込まれています。運動器疾患という用語は医学的に正確でも、腰痛とすぐに結びつけるのは難しいのではないかと思います。

分類番号の横に腰痛など補足を添えると利用者が自分の探している本を見つけやすくなると思います。

図書館には所蔵資料を検索できる機械があり、求めている本をすぐ探すことができますが、書棚に並んでいる本との思わぬ出会いもあります。

こういった出会いのためにも、利用者が自身の生活と本とを結びつけやすいよう、親しみを持って図書館を利用できるようなわかりやすい表示をつけてもらえると嬉しいです。

また、健康に関する常設コーナーがあると良いと思っています。健康はどの世代にも関わるテーマだと思います。子どもから大人まで気軽に本を手にとれるような情報の集まる場所を作って欲しいです。

図書館 書架の表示について、補足が必要であることはおっしゃるとおりだと思います。少しずつですが改善に取り組んでいるところです。例えば、家政学の本を料理や手芸に分類

して並べていますが、これを更に細かく分けた表示を増やしています。他の書架も改善を進めていきます。

健康コーナーの常設について、今後の参考にさせていただきます。練馬区の職員からも例えば区で作ったがんについての小冊子を配布していただきなどといった依頼が定期的にあります。そういった情報と図書館の資料とが併せて手に取れるよう、工夫していきたいと思えます。

利用者 図書館の女子トイレについて、個室のドアに設置されている荷物がけ用のフックがとても高い位置にあります。もう少し低い位置にずらせると安全に利用できると思えます。

図書館 今後の施設管理の参考にさせていただきます。

利用者 図書館に質問です。例えば、本の内容が良くわからない、欲しい情報が見つからない時に、レファレンスコーナーを利用したらどの本のどの辺りに載っているといったところまで調べていただけるのでしょうか。

図書館 はい、お調べします。図書館としてはいつでもお声かけいただきたいですが、聞くのを躊躇う方も勿論いらっしゃいます。そのため、ご自身で求めている情報に辿り着けるように、私たちが書架の表示や案内を工夫していきます。

利用者 常設コーナーについて、とてもいい意見だと思えました。しかし、場所も予算も有限のため、全ての要望に応えるのは難しいとも思いました。図書館からの情報発信としてブックリストの作成やレファレンスサービスの周知にも力を入れてもらいたいです。また、近隣の中学生とも協力して本の紹介をするリストを作ったりすると子どもたちの来館に繋がるのではないかと思えました。

図書館 ありがとうございます。ブックリストやパスファインダー、パンフレット類を揃え、総合的に調べ方を発信していくのも図書館の大きな役割だと思っています。書架の表示の改善や常設コーナーの設置も含め、今後の参考にさせていただきます。

利用者 先程の話が聞き取れなかったのですが、11月20日に何があるのか教えてください。

図書館 練馬区立図書館を統括している光が丘図書館の利用者懇談会があります。図書館全体のルールやサービスについては、関町図書館ではお答えできないため、図書館全体に

関係する事柄についてのご意見は光が丘図書館の利用者懇談会にてお話しいただければと思います。

利用者 関町図書館は閲覧席でパソコンが使えてありがたいです。他区の図書館にも行きますが、キータッチの音がするためパソコンは使えません。練馬区は進んでいると思いました。

青少年に対する図書館サービスについて、他の参加者の方から話がありましたが、配布資料の「令和6年度 関町図書館実施事業一覧」の青少年向け事業の実績を見ますと、参加人数にばらつきがあるのがわかります。青少年の需要に沿った事業ができていないのだと思います。青少年がどんなことに興味があるのか、アンケート調査を行うと良いと思います。

もう一点、図書館が何をやっているのか利用者に伝わっていないです。「令和6年度 関町図書館実施事業一覧」に「3Dプリンタってどんなもの？」を行ったとあります。私は面白い企画だと思いましたが、この事業を行っていることに気が付きませんでした。広報に工夫が必要だと思います。

図書館 おっしゃるとおりだと思います。広報と企画立案の課題として検討してまいります。

利用者 図書館の駐輪場について要望があります。灯りが少なく暗いです。外灯を増やしてもらいたいです。

図書館 今後の施設管理の参考にさせていただきます。

利用者 関町図書館で所蔵している雑誌についてです。「JTB時刻表」と「JR時刻表」時刻表を二種類所蔵していますが、類似した内容ならどちらか一誌で良いのではないのでしょうか。

図書館 今後の蔵書構成の参考にさせていただきます。

利用者 図書館に質問です。図書館の本の選書について、例えばこういう本を入れて欲しいなど要望を出すポストのようなものはありますか。図書館の本はどう選ばれているのか気になっています。

図書館 図書館に所蔵する資料は「練馬区立図書館資料収集方針」に基づき選定しています。購入希望については「購入希望調査用紙」に記入の上、カウンターの図書館員にお渡

してください。関町図書館の蔵書全体のバランスや、近隣の図書館の所蔵状況などを鑑みて選書会議にて購入を検討します。

利用者 図書館に質問です。リクエストした本は練馬区の全ての図書館で所蔵を検討されるのでしょうか。

図書館 蔵書構成を考える上で、その図書館を利用している方からのリクエストは非常に重要だと考えています。そのため、購入希望調査用紙を受付した図書館でまず所蔵を検討します。練馬区立図書館全体の蔵書のバランスは光が丘図書館が調整しています。

利用者 二階の飲食専用コーナーについて、私には余り利用がないように見受けられますが、あの場所を他に有効活用できないでしょうか。

利用者 クロスドリームです。布の絵本制作講習会の手伝いに来てくれた方は良く利用されているそうです。近くに飲食店が少ないためここで食べられると助かると言っていました。時間によって良く利用されるタイミングがあるのだと思います。

利用者 飲食専用コーナーについて質問です。席が空いていたら資料の閲覧席として使ってもいいですか。

図書館 飲食専用コーナーでは資料の閲覧はできません。設置当初は飲食優先コーナーとしていましたが、飲食以外の利用で席が埋まってしまい、飲食で利用しようと思った方が席に座れないという事例が多発してしまいました。このため飲食専用と改めました。曜日、時間帯によっては満席になったり、順番待ちをしたりしている方も見受けられます。一定の需要と利用があるものと考えています。

5 閉会の挨拶

図書館 お時間のようです。本日はお集まりいただきありがとうございます。貴重なご意見をたくさんいただきまして、非常に参考になりました。

このような機会以外でも、気軽に職員にご意見や、こういったことはどうかと言ったようなご提案や、こういった要望があるなど情報をいただくと大変助かります。より良い図書館になっていければと思っています。是非今後も協力いただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。以上で、懇談会を終了いたします。

以上